



ディストリビューションを選ぶ

個人が自宅で Linux をご使用になる前提で、色々なディストリビューションの中から feie が推奨する debian をご紹介します。その一番の理由は、今後も開発が止まることなく継続していくと予想できるからです。

CentOS というディストリビューションがありました。RedHat 社の突然の変更により開発が中断され、使用していたユーザは別のディストリビューションに変更せざるを得ない状況になった事があります。CentOS は「コミュニティ エンタープライズ OS」と呼び名でオープンなコミュニティが有ると思いましたが、実態は RedHat 社の都合で変更されました。

業務で使っているディストリビューションをご自宅で使うのも良いですが、個人で使うなら市場シェアに流されるより、今後も使えるディストリビューションを選択すべきです。

ディストリビューション派生図



歴史も古く玄人向け。初期に日本語アドインが作られ大人気だった。



ドイツのノベル社で作成している。欧州では人気のディストリビューション



本家 slackwear をベースに色々なソフトや環境を取り揃えたディストリビューション



debian

世界中のボランティア開発者が作成。2021 年現在 51000 以上のソフトが揃っている。



シェア No.1
debian をベースに使いやすさを追求している。カノニカル社の支援で作成している。デスクトップは GNOME ですが、Unity に変わったり、また戻したりとカノニカル社の都合で変更されたりする。



redhat

RedHat Enterprise Linux をサポート付きで販売し、個人利用であるならば無料で利用できる。



fedora は RedHat Enterprise Linux の先行開発版で、皆さんにバグ出して頂く代わりに無料で使える。安定に近づくと、RedHat Enterprise Linux に反映される。

debian をお勧めする理由

feie では個人的に使用するディストリビューションに **debian** をお勧めします。まず、世界中のボランティア開発者が活発に作成しており、このまま継続していく事が見込まれます。シェア No1 の **Ubuntu** や **RedHat** は企業が作成、または後押ししており、企業が買収や消滅が発生した場合は、別のディストリビューションに乗り換える必要があります。今の所、どちらの会社も業績が良いので近い内に消滅する事は限りなくゼロでしょう。ですので、情報が多い、これらの企業作成のディストリビューションを業務で使用しているなら、個人での使用も同じであるほうが良いでしょう。

Linux カーネルは多数の開発者、企業が後押ししており、1企業物ではありません。**debian** も同じで 1 企業物ではないので、オープンであるポリシーが似ていると感じます。インストーラもグラフィカルで分かりやすく、デスクトップ環境も、**GNOME** の他に **Xfce**、**KDE**、他多数をインストール時に選択できるうえ、バグがあった場合、**RedHat** や **Ubuntu** より修正や更新が速いような傾向があります。ボランティア開発者が多いので、開発が活発なようです。約2年毎に大きな改定があり、各プログラムやライブラリの組合せに問題が少ない安定的な物を選択してリリースされます。**Ubuntu** や **Fedora** は更新が短いので、最新のプログラムを使いたいなら、そちらを選ぶと良いです。

これからも長期間使うなら1企業にとらわれず、多人数のボランティア開発者が作成する **debian** を利用する事が、個人的なボランティア活動になるのではないのでしょうか。



本文書はフリーランスエンジニアである Far East Information Engineering が作成しました。
自由に利用できますが、無保証になります。

<https://feie.tech/>

ライセンスは以下とさせていただきます。

<https://doclicenses.opensource.jp/GFDL-1.2/GFDL-1.2.html>



本文書は Libre Office にて作成しました。

<https://ja.libreoffice.org/>

ユーザーガイド

<https://documentation.libreoffice.org/ja/documentation-in-japanese/>